


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成28年8月17日

山北町議会議長 府川 輝夫 殿

受付番号	第3号	質問議員	4番	児玉洋一 
件名	「やまなみ五湖」交流ネットワークの充実を			
要 旨				
<p>県北西部に位置する当町には丹沢湖、相模原市や愛川町、清川村には相模湖、奥相模湖、津久井湖、宮ヶ瀬湖の合計5つのダム湖があり、現在県内上水道の約8割の水源地として機能しています。また、同時にこの水源地と豊かな自然環境を良質な状態で次世代に引き継ぐべく、県ではこれら5つの湖を「やまなみ五湖」と称し、水源地域と都市地域との交流を軸に、やまなみグッズ商品の販売や里の案内人としてコーディネーターの選任、情報発信ポータルサイトの運営など、様々な交流事業の施策を実施しており、水源地域の魅力を伝える大変重要なツールのひとつであると認識しています。</p> <p>今後、この「やまなみ五湖」交流ネットワークの更なる充実を図ることで、水源地域の活性化・連携強化はもちろん、上下流域住民との交流による魅力ある新たなツーリズムの展開などが期待できることから、次の点について質問いたします。</p>				
<p>(1) 「やまなみ五湖」交流イベントの開催は</p> <p>現在「やまなみ五湖」それぞれの地域では、花火大会やマラソン大会など様々なイベントが開催されておりますが、今後、水源地域間交流イベントとして林道や登山道を利用した、やまなみ五湖を巡る「やまなみトレイルラン」や「マウンテンバイクやまなみ周遊ツアー」など新たなイベント開催の考えがあるか伺います。</p>				
<p>(2) 「里の案内人」を活用した積極的なPRを</p> <p>交流事業のコーディネーターとして機能している「里の案内人」は、様々な分野のエキスパートとして、地域の魅力を発信できる大切な制度であると認識しておりますが、その位置づけや目的が地域ごとに温度差があるように感じます。</p> <p>また、現在の「里の案内人」も高齢化が進み、後継者不足に悩んでいるとの声も聞きます。今後、里の案内人選定基準の見直しや後継者人材育成、町内地域はもちろん、やまなみ五湖の相互間交流などを通じ、制度の充実を図るとともに、積極的な活動とPRが必要だと思っておりますが、町の考えを伺います。</p>				

(3) 「やまなみ五湖周遊道路」の整備を

「やまなみ五湖」の大切な一つを担う丹沢湖と、北部に位置する奥相模湖と呼ばれる道志ダムは、県道 76 号山北藤野線で南北を結ぶ道路ではありますが、一部は未舗装及び林道区間であることから、現在、双方向で行き止まりとなっています。

「やまなみ五湖」を周遊できるルートが確保されれば、今後新たなツーリズムの柱になると確信しています。山北スマートインターチェンジ開設のこのタイミングこそ、近隣市町村が連携し、県へ働きかけるいい機会であると思いますが、町の考えを伺います。

以 上